

# 県立学校等若年教員研修会1年目 教科別等研修《英語》

## 教科別等研修のねらい



福岡県教育センター



共創しよう!  
教育の未来

Fukuoka Prefecture / Fukuoka Prefectural Education Center

# この時間の流れ

- 教科別等研修のねらい
- 教科別等研修の1年間の流れ
- 若年教員研修3年間の流れ
- 課題研修について
- 学習指導案について

教科別等研修の  
ねらい

教科別等研修の  
1年間の流れ

若年教員研修  
3年間の流れ

課題研修に  
ついて

学習指導案に  
ついて

# 教科別等研修のねらい

【質問】 教科別研修は何のためにするの？

- ☆ 教科の専門性の向上
- ☆ 実践的な指導力の向上
- ☆ 初任者間の一体感の醸成

## 所属校における教科研修・一般研修

- 研究授業 … 3回
  - ・ 1学期中に1回
  - ・ 2学期中に、出来るだけ全3回を実施

- ◆ どのような授業がしたいですか？
- ◆ 英語の授業を通して  
生徒に何を伝えたいですか？
- ◆ そのためには何が大切ですか？

教科別等研修の  
ねらい

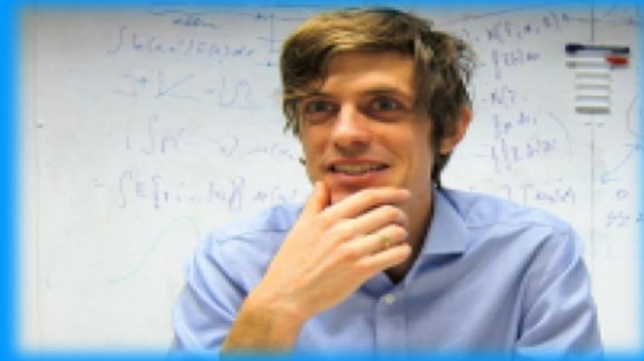
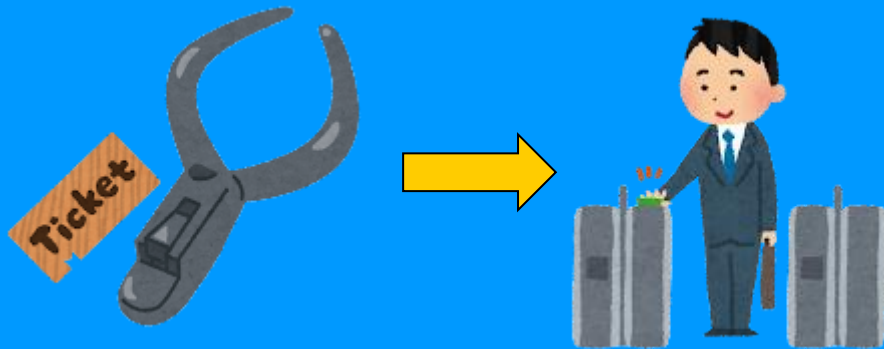
教科別等研修の  
1年間の流れ

若年教員研修  
3年間の流れ

課題研修に  
ついて

学習指導案に  
ついて

「今後10～20年程度で、約47%の仕事が自動化される可能性が高い。」



マイケル・A・オズボーン  
(オックスフォード大学准教授)

# 子供たちが身に付けるべき力は？

加速度を増し、複雑で予測困難な社会の到来



**変化を前向き**に受け止める

- ・よりよい未来、社会や人生を創れるよう考える
- ・主体的に学び続けて自分の能力を引き出す
- ・試行錯誤したり、協働したりして新たな価値を生み出していく

**流行**

「生きる力」「資質・能力」の育成



## 教員として必要とされる力は？

- ◆ 使命感、責任感、教育的愛情
- ◆ 専門的知識、実践的指導力
- ◆ 総合的人間力
- ◆ コミュニケーション能力

不易

# 県立学校教員育成指標の確認

| ステージ<br>職<br>キーワード |                                 | 養成                                   | 基礎・向上   |
|--------------------|---------------------------------|--------------------------------------|---|
|                    |                                 | 教諭                                   |   |
|                    |                                 | 志・基盤                                 | 基礎・基本   |
| 資質・能力              |                                 | 教員として、教育に対する志を高め、求められる資質・能力の基盤を形成する。 | 若年教員として、教育に関する基礎的・基本的な資質・能力を形成する。                             |
| 教職としての<br>素養       | 教育公務員に求められる<br>基礎的な能力<br>(法令遵守) | 教職の意義や法令遵守の重要性を理解できる。                | 教育、学校及び教職の意義や社会的役割・サービスに係る理解を深め、法令を遵守し、責任をもって自らの職責を果たすことができる。 |
|                    | 教育公務員に求められる<br>基礎的な能力<br>(事務処理) | 学校事務の内容について理解できる。                    | 学級事務の正確・丁寧な処理ができる。  |
|                    | 教育公務員の使命と<br>責任<br>(使命感と熱意)     | 教育公務員の崇高な使命を理解し、志を立てることができる。         | 教育公務員としての自覚をもち、組織の一員として円滑なコミュニケーションを取りながら行動し、良好な人間関係を構築できる。   |
|                    | 学校組織の<br>理解と参画                  | 学校組織や校務分掌とともに、学級担任の役割と職務内容を理解できる。    | 学校の教育目標・重点目標、学級経営及び教科経営の方針を理解し、実践できる。                         |

# 県立学校教員育成指標の確認

| 資質・能力    |                    | ステージ   | 養成  | 基礎・向上                             |
|----------|--------------------|--|---|-----------------------------------|
|          |                    | 職  | 教諭  |                                   |
|          |                    | キーワード  | 志・基盤  | 基礎・基本                             |
|          |                    |  | 教員として、教育に対する志を高め、求められる資質・能力の基盤を形成する。  | 若年教員として、教育に関する基礎的・基本的な資質・能力を形成する。 |
| 教職としての素養 | 自己啓発・人材育成          | 研修や自己啓発により、教員としての資質を高めることの重要性を理解できる。                     | 自己の役割を自覚し、教育活動に関わるとともに、研修等を通して教育に関する基礎・基本を身に付けるために学び続けることができる。  |                                   |
|          | 保護者・地域との連携・協働      | ボランティア活動等を通じて、保護者や地域等を含めた他者との協力や関わりの重要性を理解できる。           | 保護者や地域と積極的に関わり、連携・協働を通じて課題解決に向けて対応することができる。   |                                   |
|          | 危機管理               | 危機管理についての知識や重要性及び危機を察知した際の組織的な行動の大切さを理解できる。              | 事故や災害等に普段から備え、安全に配慮した教室環境等の整備と、危機を察知した際の迅速な対応ができる。  |                                   |
|          | 自他の人権を尊重する意識・意欲・態度 | 人権問題を自分自身の課題としてとらえ、人権尊重の精神に基づき、人権に配慮した行動をとることの重要性を理解できる。 | 人権問題を自分自身の課題としてとらえ、人権や人権擁護に関する基本的な知識を学び、その内容と意義についての理解と認識を深めるとともに、人権がもつ価値や重要性を共感的に受けとめるような感性や感覚を身に付け、それに基づく教育活動を行うことができる。 |                                   |

# 県立学校教員育成指標の確認

| 資質・能力 |         | ステージ                                    | 養成                                     | 基礎・向上                             |
|-------|---------|---|--|-----------------------------------|
|       |         | 職                                       | 教諭                                     |                                   |
|       |         | キーワード                                   | 志・基盤                                   | 基礎・基本                             |
|       |         |   | 教員として、教育に対する志を高め、求められる資質・能力の基盤を形成する。   | 若年教員として、教育に関する基礎的・基本的な資質・能力を形成する。 |
| 学習指導  | 授業構想    | 学習指導要領の理念と内容を理解するとともに、授業のイメージをもつことができる。 | 学習指導要領の理念と内容に基づき、教科書の内容に応じた指導計画を立案できる。 |                                   |
|       | 授業展開    | 授業展開の基盤となる教育技術を理解できる。                   | 各教科等の専門的知識と基礎的・基本的な指導技術を身に付けた授業展開ができる。 |                                   |
|       | 授業評価と改善 | 学習評価の意義と方法について理解できる。                    | 児童生徒一人一人の学習状況を把握し、適切な指導と評価ができる。        |                                   |

## 教科別等研修のねらい

- ◆ 学習指導要領についての理解
- ◆ 教材研究
- ◆ 学習指導案
- ◆ 授業改善
- ◆ 課題研修

教科別等研修の  
ねらい

教科別等研修の  
1年間の流れ

若年教員研修  
3年間の流れ

課題研修に  
ついて

学習指導案に  
ついて

# 教科別等研修の1年間の流れ

教科別等研修の  
ねらい

教科別等研修の  
1年間の流れ

若年教員研修  
3年間の流れ

課題研修に  
ついて

学習指導案に  
ついて

|     | 所属校  |      | 教育センター                     |
|-----|--|------|----------------------------|
| 若年研 | 授業研修   | 課題研修 | 教科別等研修                     |
| 1年目 | 週1～2時間程度<br>(年間50時間程度)<br>初任者研究授業3回<br>先任者示範授業2回 | 課題研修 | 教科別等研修<br>授業研修<br>(2回)     |
| 2年目 |  |      | 教科別等研修                     |
| 3年目 | 研究授業2回   |      | 教科別等研修<br>(課題研修発表<br>会を含む) |

教科別等研修の  
ねらい

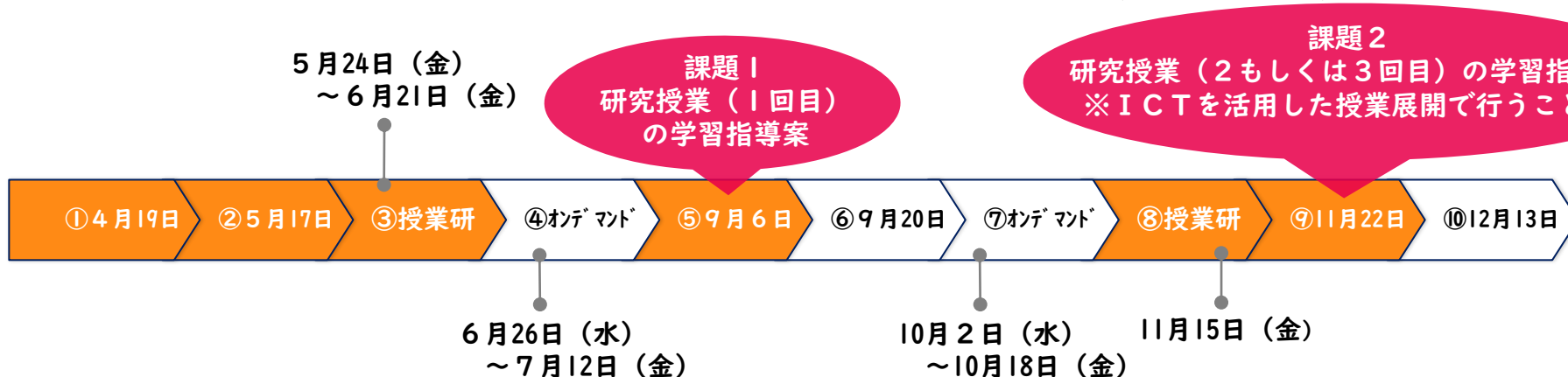
教科別等研修の  
1年間の流れ

若年教員研修  
3年間の流れ

課題研修に  
ついて

学習指導案に  
ついて

## 福岡県教育センターでの教科別等研修（1年目）



### ○授業研修（2回）

実際に授業を行い、その授業について協議を行う。

### ○課題

管理職の確認を受け、課題提出先にE-mailで提出する。

### ○持参物（タブレット等による持参も可）

①「令和6年度県立学校教員研修資料」

②「高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説（外国語編）」

③「評価規準の作成、評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 外国語）」

④「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料（高等学校 外国語）」



# 福岡県教育センターでの教科別等研修

## ● 授業研修 … 2回

- ・5月24日(金)～6月21日(金)に、1回**該当校で**実施する。

※初任者全員で、授業研修を行う。

県教育センターから依頼し、授業者が決定する。

(先任者示範授業+初任者研究授業)

- ・11月15日(金)に、1回**福岡県教育センターで**実施する。

## 課題の提出について（学習指導案提出）

### 1回目の課題提出

学校ごとにまとめて8月30日（金）17:00までに提出

9月6日（金）の若年教員研修会第5日に、  
課題持参部数一覧表に指定された部数を持参

### 2回目の課題提出は

11月15日（金）17:00 （若1⑧の日）

持参は11月22日（金）

教科別等研修の  
ねらい

教科別等研修の  
1年間の流れ

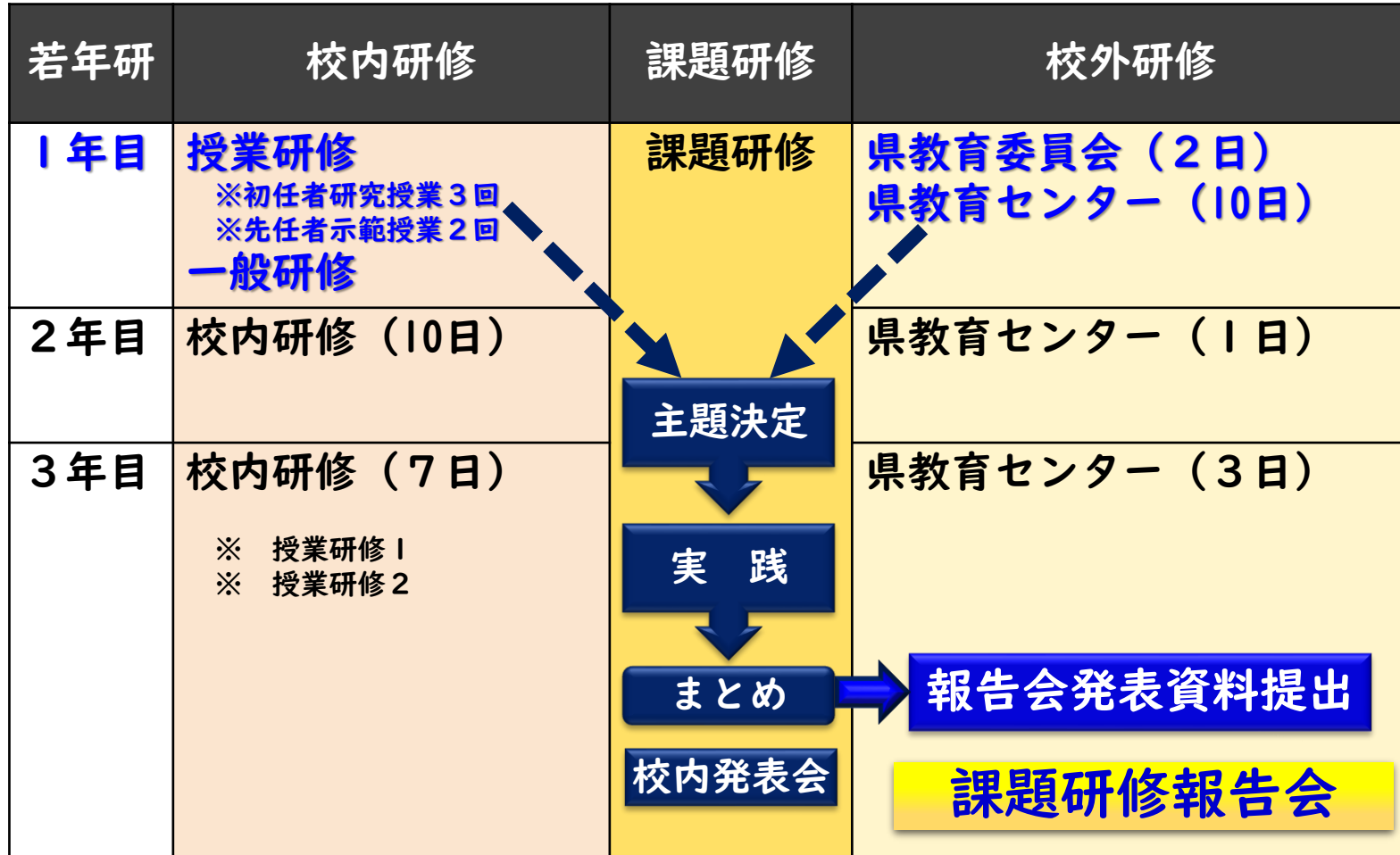
若年教員研修  
3年間の流れ

課題研修に  
ついて

学習指導案に  
ついて

# 若年教員研修3年間の流れ

## ○ 若年教員研修 3年間の流れ



# 若年教員研修会 1年目 日程

|     |  |   |   |   |   |  |   |
|-----|--|---|---|---|---|--|---|
| 第1日 | 4月19日(金)   | 開会行事  | 全体会<br>(10:00~10:45)<br>《講話》<br>「新任教師に期待する」 | 全体会<br>(11:05~12:00)<br>《説明・講義》<br>「若年教員研修の概要・意義」 | 全体会 (13:00~14:20)<br>《講義》<br>「教職員の倫理観<br>～不祥事防止について～」 | <b>教科別等研修</b><br>(14:40~16:00)<br>《講義・演習・協議等》  |   |
| 第2日 | 5月17日(金)   | 事業紹介センター  | 全体会<br>(9:50~10:20)<br>《講義》<br>「授業技術の基礎・基本」 | 部会別<br>(10:30~11:00)<br>《講義・演習・協議》<br>「学習指導案の作成」  | <b>教科別等研修</b><br>(11:20~12:40)<br>《講義・演習・協議等》         | 全体会<br>(13:40~14:00)<br>《演習》<br>「ICTを活用した授業改善」 | 全体会<br>(14:00~16:00)<br>《講義・演習》<br>「ICTを活用した授業改善」 |
| 第3日 | <b>教科別等研修</b><br>《授業研修①》<br>※5月24日(金)～6月21日(金)の期間中の1日に、各教科別等に学校等を会場として実施 |   |   |   |   |  |   |
| 第4日 | オンデマンド   | 全体会 (60分)<br>《講義・演習》<br>「特別な教育的支援を要する児童生徒等の理解と指導」 | 全体会 (60分)<br>《講義・演習》<br>「教員としての社会性」         | 部会別 (60分)<br>《講義・演習》<br>「キャリア教育について」              | 部会別 (60分)<br>《講義》<br>「学級・ホームルーム経営の基本」                 | 視聴期間：6月26日(水)～7月12日(金) ※詳細は別途通知する。             |   |

# 若年教員研修会 1年目 日程

|                                     |              |  |   |  |  |
|-------------------------------------|--------------|--|---|--|--|
| 第5日                                 | 9月6日<br>(金)  | <b>教科別等研修</b><br>(9:40~12:10)<br>《講義・演習・協議等》 |   | <b>教科別等研修</b><br>(13:10~16:00)<br>《講義・演習・協議等》        |  |
| 第6日                                 | 9月20日<br>(金) | 全体会 (9:40~11:10)<br>《講義・演習》<br>「教職員のメンタルヘルス」 | 全体会 (11:30~12:30)<br>《講義》<br>「人権教育を推進するに当たっての基本的な考え方」 | 全体会 (13:30~16:00)<br>《実践発表》<br>「よりよい学級・ホームルーム経営のために」 |  |
| 第7日                                 | オンデマンド       | 全体会 (40分)<br>《講義・演習》<br>「情報活用能力の育成について」      | 部会別 (60分)<br>《講義》<br>「道徳教育の在り方」                       | 全体会 (50分)<br>《講義・演習》<br>「保護者等対応について」                 | 全体会 (90分)<br>《講義・演習》<br>「安全管理と学校事故の対応」 |
| 視聴期間：10月2日(水)～10月18日(金) ※詳細は別途通知する。 |              |  |   |  |  |

# 若年教員研修会 1年目 日程

|      |               |  |  |   |
|------|---------------|--|--|---|
| 第8日  | 11月15日<br>(金) | 全体会<br>《授業研修②》<br>県教育センター 指導主事                 |  |   |
| 第9日  | 11月22日<br>(金) | 全体会 (9:40~10:40)<br>《講義・協議》<br>「いじめ・不登校に対する指導」 | <b>教科別等研修</b><br>(11:00~12:00)<br>《講義・演習・協議等》  | <b>教科別等研修</b><br>(13:00~16:00)<br>《講義・演習・協議等》 |
| 第10日 | 12月13日<br>(金) | 全体会 (9:40~11:40)<br>《講義》<br>「教育相談の理論と方法」       | 全体会 (12:40~14:40)<br>《協議》<br>「教師として求められる資質・能力」 | 全体会 (15:00~16:00)<br>《講話》<br>「学校教育に求められること」   |

教科別等研修の  
ねらい

教科別等研修の  
1年間の流れ

若年教員研修  
3年間の流れ

課題研修に  
ついて

学習指導案に  
ついて

## 若年教員研修会 2年目 日程

11月14日(木)

### 教科別等研修

(9:50~12:10)

《講義・演習・協議等》 (学習指導の工夫)

### 全体会

(13:10~14:40)

《講義》

「保護者等対応について」

### 全体会

(15:00~16:00)

《講義》

「いじめ・不登校に対する指導」



教科別等研修の  
ねらい

教科別等研修の  
1年間の流れ

若年教員研修  
3年間の流れ

課題研修に  
ついて

学習指導案に  
ついて

## 若年教員研修会 3年目 日程

| 第1日<br>6月13日(木)   | 第2日<br>9月12日(木)   | 第3日<br>12月3日(火)                           |
|---|---|---|
| 開会行事(9:40~9:50)   | 全体会(9:40~10:40)   | <b>課題研修報告会</b><br>(9:40~16:00)<br>《発表・協議》 |
| 全体会(9:50~11:50)<br>《講義》<br>「組織運営への主体的参画」                      | 《講義》<br>「特別支援教育の動向と合理的配慮<br>について」                                       |   |
| 教育センター事業紹介<br>(11:50~12:00)                                   | 全体会(11:00~12:00)<br>《講義》<br>「いじめ・不登校に対する指導」                             |   |
|   |   |   |
| <b>教科別等研修</b><br>(13:00~16:00)<br>《講義・演習等》<br>(教科指導の在り方・授業改善) | <b>教科別等研修</b><br>(13:00~16:00)<br>《講義・演習等》<br>(教科指導力向上・教科指導と評価の<br>在り方) |   |

教科別等研修の  
ねらい

教科別等研修の  
1年間の流れ

若年教員研修  
3年間の流れ

課題研修に  
ついて

学習指導案に  
ついて

# 課題研修について

## 若年者研修における課題研修とは？

若年者が、学校教育において直面する

**教科指導上の課題**を明確化し、

その課題の解決を図るために、

指導を受けながら自主的に行う研修

報告会：教育センター、所属校

**主眼は授業改善**

教科別等研修の  
ねらい

教科別等研修の  
1年間の流れ

若年教員研修  
3年間の流れ

課題研修に  
ついて

学習指導案に  
ついて

## 課題研修について

課題発見

主題決定

実践

1～3年目  
継続的に実施

まとめ

校内発表会

センターでの発表会

報告書等提出

3年目

まとめ、発表

教科別等研修の  
ねらい

教科別等研修の  
1年間の流れ

若年教員研修  
3年間の流れ

課題研修に  
ついて

学習指導案に  
ついて

## 主題と副題の例

**主題**：自身の研究で目指す生徒の姿＋対象・領域

**副題**：目指す生徒の姿を実現するために中心となる手立て

## R5年度の例

生徒が主体的に文法的正確性の向上を図ることができる英作文指導  
—自動添削・翻訳ソフトを活用した英作文活動を通して—

談話的能力(Discourse Competence)を養う指導  
—ペアでの音読活動と即興スピーキング活動の動画撮影を通して—

音と文字の一致に向けた語彙力指導  
—フォニックスを用いた帯学習を通して—

## ○ ゴールの姿1 (若年教員研修「課題研修」発表用資料)

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ (研究主題)

-○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ (副題) -

- 1 主題の意味
- 2 主題設定の理由
- 3 研究の目標
- 4 研究の実際
- 5 研究の成果と課題

書式：A4、45文字45行、  
上下左右余白20mm  
フォントサイズ  
(主題14、他10.5)  
両面1枚

## ○ ゴールの姿2 (課題研修報告会) 教科指導の取組を15分程度で報告＋自主的な会の運営

- 主題・副題設定・・・発見した課題を焦点化  
課題を「重要性」・「緊急性」・「実現可能性」から  
吟味・**焦点化**・・・欲張りすぎない！！

理想像＝目指す生徒像を具体化

主題：どのような力をつけたいか・・・目的

副題：主題達成のための手立て・・・方法

- 若年者自身が、取り組みたい実践か
- 目指す生徒の姿は明確か
- 学習指導要領や学校教育目標に準拠しているか
- 教科の特質**は出ているか
- 検証可能か

教科別等研修の  
ねらい

教科別等研修の  
1年間の流れ

若年教員研修  
3年間の流れ

課題研修に  
ついて

学習指導案に  
ついて

# 学習指導案について



## 教材研究にあたって

○高等学校学習指導要領（平成30年告示）

○高等学校学習指導要領解説 外国語編

**P12 第1章 第3節 外国語科の目標**

**P123 第3章 第1節 各科目にわたる指導計画  
の作成と内容の取扱い**

# 学習指導案について

令和6年度 県立学校教員研修資料

P. 32～

学習指導案の作成

P. 34～

学習指導案様式例

評価規準の作成、評価方法等の工夫改善のための参考資料

P. 23 評価の観点及びその趣旨

○ 学習指導案とは

どのような**目標**で

どのような**内容**で

どのような**方法**で

どのように**評価**するのか



という綿密な指導計画

不十分な点を見直し、次に生かしていく

○ 学習指導案のよさ

授業者にとって ⇒ 指導力の向上

授業改善

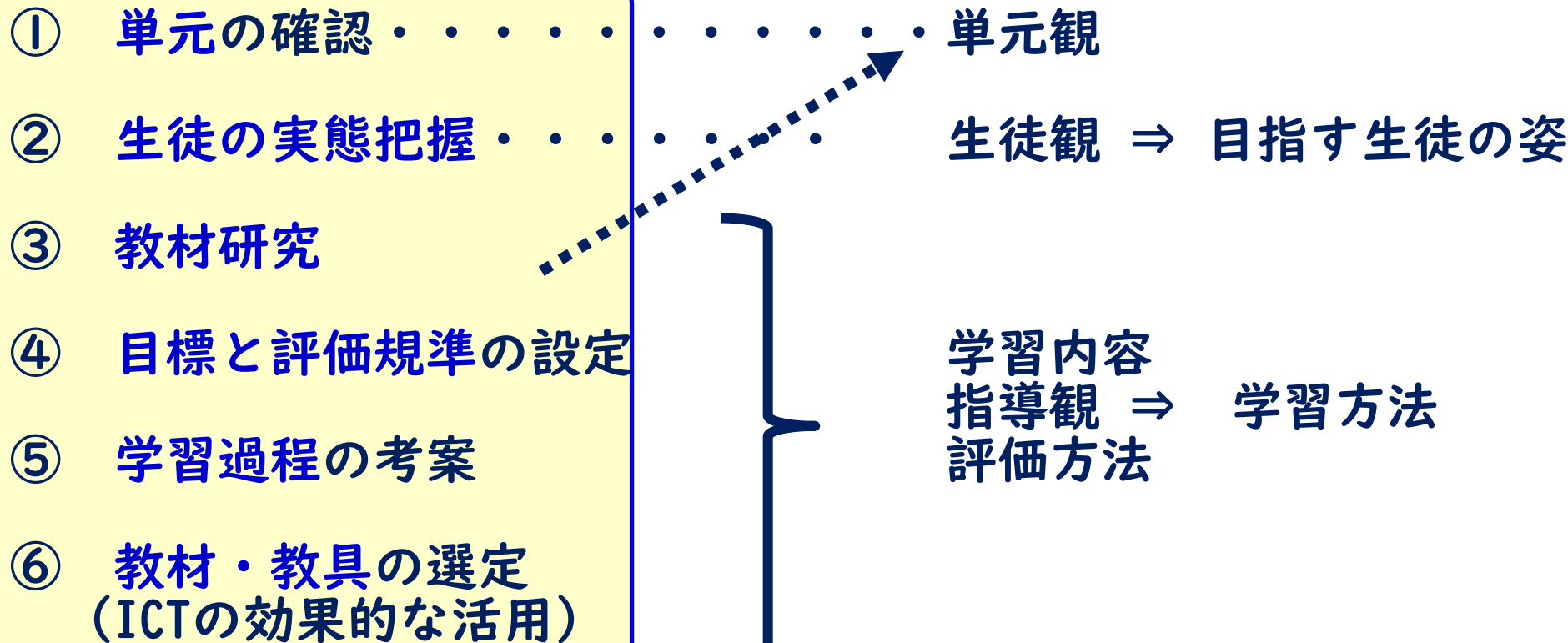
生徒にとって ⇒ 学びの適切な評価

学力向上

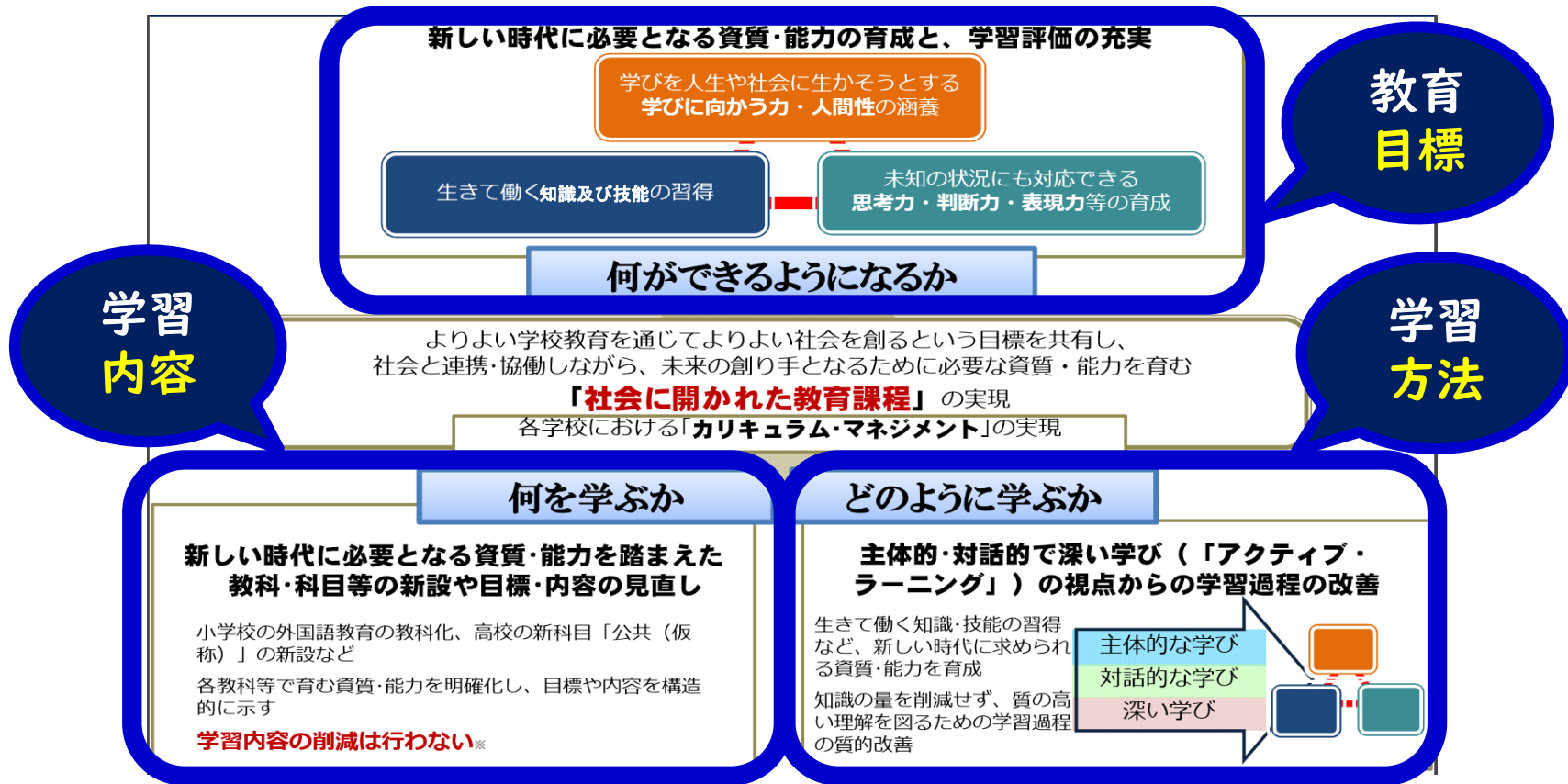
参観者にとって ⇒ 意欲の喚起

共有・改善

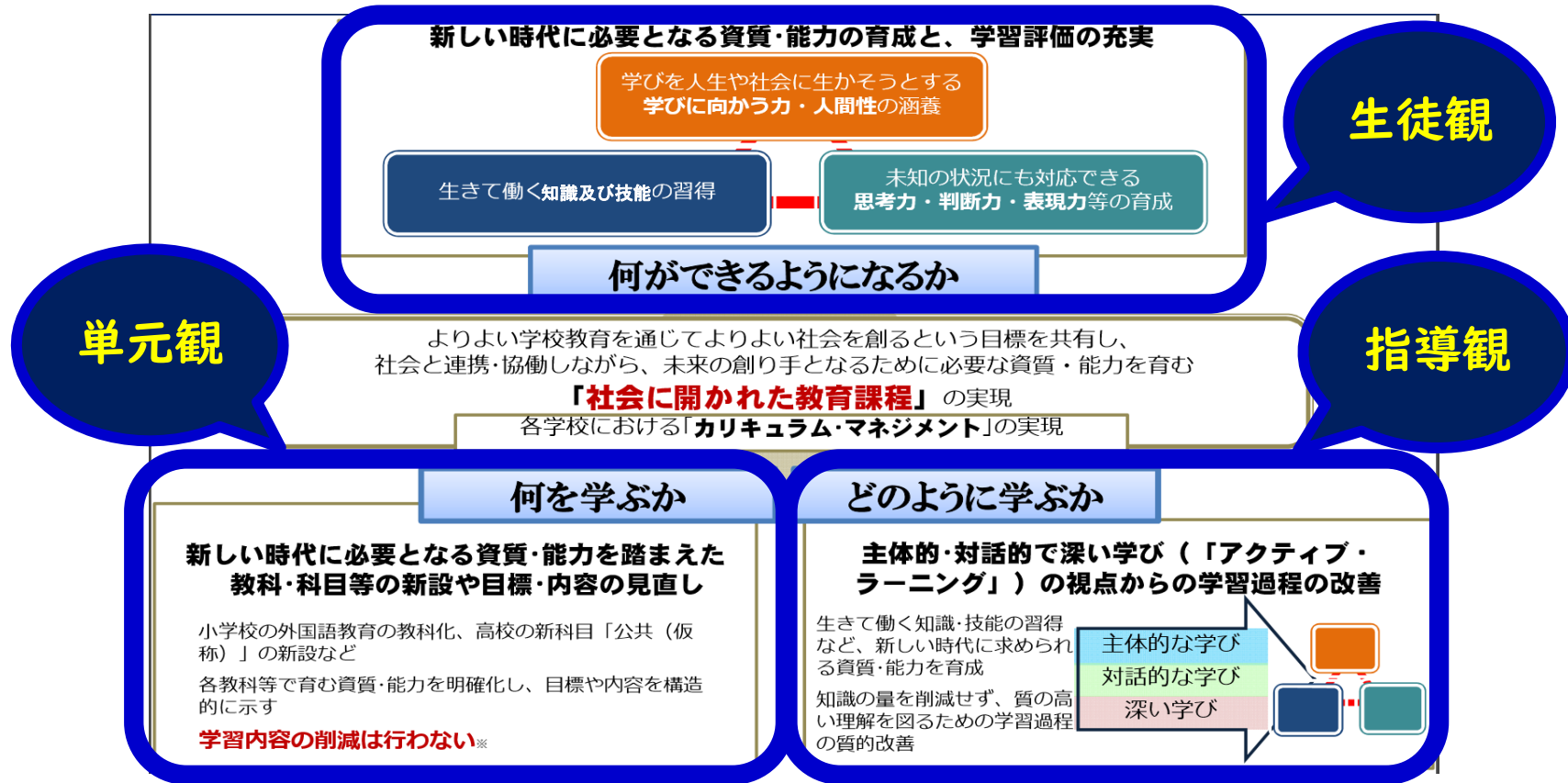
## ○ 学習指導案の作成手順



# ○ 学習指導要領：新学習指導要領（H30告示）の概要



# ○ 学習指導要領：新学習指導要領（H30告示）の概要



## ○ 学習指導案作成のポイント

- ストーリー性のある学習指導案か  
～（学習内容＝単元観）において、  
～（手立て＝指導観）をとれば、  
～（目指す生徒の姿←生徒観）な生徒が育つだろう

学習指導要領・教科書等

学習指導要領・教育関係書籍等

実態把握・学校教育目標等

- 単元と本時がつながっているか・・・単元設定の理由  
目標、評価規準など
- 目標と評価規準、評価場面・方法は適切か
- 学習内容・場面に即した学習活動になっているか
- 様式・表現は適切か



教科別等研修の  
ねらい

教科別等研修の  
1年間の流れ

若年教員研修  
3年間の流れ

課題研修に  
ついて

学習指導案に  
ついて

## ○ 学習指導案にストーリー性をもたせよう



教科別等研修の  
ねらい

教科別等研修の  
1年間の流れ

若年教員研修  
3年間の流れ

課題研修に  
ついて

学習指導案に  
ついて

○ 「**逆向き設計**」で学習指導案を作成しよう

① **目標**  
目指す生徒像

教育活動：授業等

学力

② **生徒の  
実態把握**

学力

学習により変容

③ **学習内容、  
学習方法・活動・評価の検討**

学習指導要領・学校の教育目標 → **単元**  
単元の目標設定 → 指導・評価 方法 → 各授業

教科別等研修の  
ねらい

教科別等研修の  
1年間の流れ

若年教員研修  
3年間の流れ

課題研修に  
ついて

学習指導案に  
ついて

## ○ 単元観



学習指導要領  
学習指導要領解説



教科書



書籍類



教材研究を重ねる

## ○ 生徒観

学校や学年の教育目標と比べて・・・

- ・ 授業クラスの生徒の強みは？  
（学習内容について、学習活動について）
- ・ 授業クラスの生徒の課題はどこにあるか？  
（興味・関心が高まりにくい、思考が持続しにくい、  
表現力が高まっていないなど）
- ・ 診断的評価として、事前にテストをして把握することも



単元観・指導観につながる

## ○ 指導観

単元のねらう内容、目指す生徒の姿を踏まえて、  
単元全体でどのような指導をするかを決定する

| 種類    | 具体例                   |
|-------|-----------------------|
| 教材    | ワークシート、自作教材 等         |
| 指導技術  | 発問、板書 等               |
| 授業形態  | グループ、ペア 等             |
| 指導方法  | 活動構成、学習過程 等           |
| 評価方法  | 自己評価、相互評価 等           |
| ICT活用 | タブレット端末、プレゼンテーションソフト等 |

**主体的・対話的で深い学びの視点をもつ**



## ○ 学習指導案の構成（全体像）

- 1 主題名
- 2 **単元**設定の理由
  - 単元観
  - 生徒観
  - 指導観
- 3 単元の目標
- 4 単元の評価規準
- 5 単元の指導と評価の計画
- 6 **本時**
  - (1) 本時の指導目標
  - (2) 本時の手立て
  - (3) 教材
  - (4) 学習の展開
  - (5) 板書等計画

## ○ 単元観

- 1 主題名 ← 学習指導要領の内容とその取扱いの
- 2 単元設定の理由 小項目等を参考に

### ○ 単元観 **この単元で何を身に付けさせるか**

- ・ねらい：「本単元では、～をねらっている」
  - ・指導内容：「～を取り扱う」
  - ・教材分析：「本教材の特徴は～」
  - ・教材価値：「本教材は～価値がある」
  - ・指導内容の系統：「前学年では～、次学年では～」
  - ・学習指導要領の指導内容との関連
- など



## ○ 生徒観

### ○ 生徒観 **生徒の現状（学習内容・学習活動）**

- ・ 生徒が現段階で身に付けていることは？  
「生徒は、～についての興味・関心は高い」  
「～について、～することはできる」
  - ・ 生徒が今後身に付ける必要があることは？  
「一方、～することについて課題がある」  
「～の経験が少なく、～を向上させる必要がある」
- ※ アンケート等を活用し、具体的に記述
- ※ **人権面等に配慮した記述**を

## ○ 指導観

### ○ 指導観 **目標達成・課題克服のための手立て**

- ・ 生徒観 → 目指す生徒の姿  
「～の指導に当たっては、～ができるようになることをねらう」
- ・ 目指す生徒の姿を目指し、単元全体を通して何をするか  
「～ため、～活動を取り入れ、～の段階を設定・・・」
- ・ 手立ての詳細（どの場面で何をどのようにするか）  
「○○の段階で、生徒が△△できるよう◇◇を使用し・・・  
その際、☆☆に留意し・・・」 ← 具体的に！！

主体的・対話的で深い学びの視点  
ICTの活用など

○ 単元の目標・単元の評価規準

3 単元の目標

単元全体の目標を簡潔に記述

4 単元の評価規準

何を身に付けさせるのかを示す

4 単元の評価規準

| 知識・技能                              | 思考・判断・表現                       | 主体的に学習に取り組む態度                  |
|------------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|
| ① ○ . . . . . ←<br>. . . . . ←     | ① ○ . . . . . ←<br>. . . . . ← | ① ○ . . . . . ←<br>. . . . . ← |
| ② ○ . . . . . ←<br>○ ○ . . . . . ← | ② ○ ○ . . . . . ←              | ○ ○ . . . . . ←                |

順序性がある場合は、番号で

※ 学校・学年によっては四観点

観点別に「単元の目標が達成された」と判断できる規準をまとめる

「『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料(高等学校版)」参照

○ 単元の指導と評価の計画

●、○(①、②…)等の表記は  
教科によって異なる

5 単元の指導と評価の計画

- 単元の指導計画  
学習内容と学習活動を  
具体的に、分けて記す  
「○」…学習内容  
「・」…学習活動
- 単元の評価計画  
単元全体で、どの観点をどの方法で評価するのか  
具体的に記入する

| 次 | 配当<br>時間 | 学習活動  | 評価視点 |   |   | 評価方法                   |
|---|----------|---|------|---|---|------------------------|
|   |          |   | 知    | 思 | 態 |                        |
| 一 | 2        | ○播種・栽培計画<br>-実際に播種を行い、栽培計画<br>をもとに播種からの栽培計画<br>を立てる。    | ①    |   | ○ | 実習態度、ファイル記述分析          |
|   | 2        | ○発芽と観察<br>-発芽状況の観察を行い、生育<br>状態の流れを確認する。また、<br>発芽率計算を行う。 | ②    | ① |   | 観察ノート                  |
| 二 | 2        | ○播の準備<br>-畝上げの方法を理解し、道具<br>の安全教育を行う。                    |      | ① | ○ | 実技、実習の様相観察<br>整地、畝立て状態 |
|   | 4        | ○定植・生育と管理<br>-定植の方法を確認し、今後の<br>管理内容を考える。                | ①    | ② |   | 定植、グループ活動<br>ファイルの記述分析 |
|   | 1        | ○追肥<br>-追肥を行う時期を確認し、現<br>在の成長段階での必要性を考<br>える。           | ②    |   | ○ | 実験の様相観察、ファイル記述分析       |

「4 単元の評価規準」との整合性  
毎時間全観点の評価は不要

○ 本時

6 本時

単元目標を焦点化・重点化し、生徒の姿で記す

(1) 本時の指導目標

- ※ 各目標には、評価の観点を記載
- ※ 「3単元の目標、4単元の評価規準、5単元の指導と評価の計画、6－(4)学習の展開の評価」との整合性
- ※ 本時で見取ることができる目標

○ 本時

本時の目標を達成するための方法

(2) 本時の手立て

(例)

「～を用いて、～する時間を設ける」

「～するために～する」

- 
- ・ 教具の使用…ワークシート・ICTなど
  - ・ 活動の具体…ジグソー法を…、～グループ編成で…

○ 本時

(4) 学習の展開 (学習指導過程)

|        | 学習活動  | 時間<br>配当 | 学習<br>形態 |                               |
|--------|---|----------|----------|-------------------------------|
| 導<br>入 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○新出単語の反復練習</li> <li>・本文の新出単語について、フラッシュカードに合わせて音読する。</li> <li>・新出単語の日本語の意味を暗記する。</li> <li>・ペアで意味確認のクイズを出し合う。</li> </ul> | 8分       | 一斉       | ○                             |
|        | <ul style="list-style-type: none"> <li>○前回 (Part1 内容読解) の復習</li> <li>・本文訳を確認しながら、ネイティブスピーカーの音源に続いてリピート形式で音読する。</li> </ul>                                     | 4分       | 個人<br>ペア | ○                             |
|        |   |          |          | 【語理解の能力】<br>(後日復習テスト・ペーパーテスト) |

【学習内容・学習活動】

- ・「何を学ぶか、どのように学ぶか」を  
**生徒主体に記述**
- (例) まとめる、調べる、話し合う
- ・連続性や関連性を考える
- 内容や活動が本時の目標達成に  
つながるように

○ 本時

(4) 学習の展開 (学習指導過程)

|    | 学習活動  | 時間<br>配当 | 学習<br>形態                   | 指導上の留意点  | 評価規準<br>(評価方)                          |
|----|---|----------|----------------------------|--|--|
| 導入 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○新出単語の反復練習</li> <li>・本文の新出単語について、フラッシュカードに合わせて音読する。</li> <li>・新出単語の日本語の意味を暗記する。</li> <li>・ペアで意味確認のクイズを出し合う。</li> </ul> | 8分       | 一斉<br><br><br>個人<br><br>ペア | <ul style="list-style-type: none"> <li>○単語習得に繋がりやすくなるように、丁寧な音声指導を心掛ける。</li> <li>○個別に復習・練習する時間を確保する。</li> </ul> | ※英文に登出単語や解し、その身に付け【言語やいての知(後日復ペー       |
|    | <ul style="list-style-type: none"> <li>○前回 (Part1 内容読解) の復習</li> <li>・本文訳を確認しながら、ネイティブスピーカーの音源に続いてリピート形式で音読する。</li> </ul>                                     | 4分       | 一斉                         | ○練習が必要な英文については適宜ネイティブ音源を止め、教師に続いて音読練習させる。  | ※折の英概要を読とができる。語理解の能力】(後日復習テスト・ペーパーテスト) |

**【指導上の留意点】**

- ・教師の働きかけを、**教師を主語**にして具体的に記述  
(例) 「～できるようにするため、～の場を設定する」
- ・主体的・対話的で深い学びの視点からの工夫も意識を



○ 本時

(4) 学習の展開 (学習指導過程)

|        | 学習活動  | 時間<br>配当 | 学習<br>形態               | 指導上の留意点  | 評価規準<br>(評価方法)  |
|--------|---|----------|------------------------|--|---|
| 導<br>入 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○新出単語の反復練習</li> <li>・本文の新出単語について、フラッシュカードに合わせて音読する。</li> <li>・新出単語の日本語の意味を暗記する。</li> <li>・ペアで意味確認のクイズを出し合う。</li> </ul> | 8分       | 一斉<br><br>個人<br><br>ペア | <ul style="list-style-type: none"> <li>○単語習得に繋がりやすくなるように、丁寧な音声指導を心掛ける。</li> <li>○個別に復習・練習する時間を確保する。</li> </ul> | <p>※英文に登場する新出単語や表現を理解し、その活用法を身に付けている。<br/>【言語や文化についての知識・理解】<br/>(後日復習テスト・ペーパーテスト)</p> |
|        | <ul style="list-style-type: none"> <li>○前回 (Part1 内容読解) の復習</li> <li>・本文訳を確認しながら、ネイティブスピーカーの音源に続いてリピート形式で音読する。</li> </ul>                                     | 4分       | 一斉                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>○練習が必要な英文については適宜ネイティブ音源を止め、教師に続いて音読練習させる。</li> </ul>                    | <p>※折り紙の歴史についての英文を読み、概要を読み取ることができる。【外国語理解の能力】<br/>(後日復習テスト・ペーパーテスト)</p>               |

【評価規準】

- ・ 本時指導目標と対応
- ・ 1～2項目に絞る
- ・ 生徒の姿を具体的に
- ・ 評価方法を具体的に  
(例) 様相観察、  
ノートの記述分析
- ・ 適切な方法を！

## ○ 本時

## (5) 板書等計画

(5) 板書等計画

黒板

面積の計算

 $f(x) \leq 0$  のとき

$$S = \int_a^b \{-f(x)\} dx$$

※対応するグラフを  
かく。

プリント②の解答

※生徒に板書させ、解答を確  
認する。

スライドを投影

※PowerPointを投影した後、  
例題8の解説を行う。

**【板書等計画】**  
・スライド資料等  
の添付でも可

教科別等研修の  
ねらい

教科別等研修の  
1年間の流れ

若年教員研修  
3年間の流れ

課題研修に  
ついて

学習指導案に  
ついて



# 先行事例を参考に時短しよう！～指導案データベース～

※福岡県教育センター

センター紹介 研修 研究・教育情報



## 新着トピック

- 2024年4月1日 令和6年度キャリアアップ講座(配信のみの講座)を公開しました(令和6年4月1日～令和7年3月7日)
- 2024年3月13日 令和6年度キャリアアップ講座の講座紹介(詳細版)を公開しました!
- 2024年2月19日 「知りたい!福岡教団塾」のページを公開しました!!
- 2024年1月29日 令和5年度福岡県教育センター(義務制)研究報告会(報告書)について
- 2024年1月11日 令和5年度福岡県教育センター研究発表会について



サイト内検索  
キーワード

2024年4  
・3月

日

7

14

21

28

9(火)

17(水)

30(火)

休館

|  |   |   |
|--|---|---|
| <b>研修</b><br>各研修の期日・場所・持参物等は下記からご確認ください。<br>基本研修 (+)<br>専門研修 (+)<br>長期派遣研修 (+) | <b>研究・教育情報</b><br><b>指導案データベース</b> (+)<br>資料・書籍検索<br>全国研究紀要・論文検索<br>特色ある教育指導計画<br>福岡県内の研究紀要等<br>調査研究成果物 (+) | <b>支援</b><br>サポート・シリーズ (+)<br>ICT活用 (+)<br>どこでもセミナー (+)<br>派遣コンサルタント (+)<br>派遣コンサルタント(受付終了)<br>教育相談 |
|--|---|---|

学習指導案のひな形  
や模範となる指導案、  
指導案の書き方(動画)  
があります

# 最後に 若年者の皆さんは

## 社会人として新人である

挨拶 …あかるく、いつも、さきに、つづけて  
電話 …誰よりも早く取る、敬語、要件  
フットワーク…誰よりも先に動く

## 教育のプロである

授業を教えるだけでなく、生徒を観察し関わる  
先生方への報・連・相 (ホウ・レン・ソウ)